

「国際社会のより良い発展」 ～小土井ゼミナール「ムヒカに学ぶ日本の未来」～

本単元で育成する資質・能力

表現力、コミュニケーション能力、
持続可能な社会づくりにむけた態度

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校社会科公民分野「私たちと国際社会」において設定したものである。この単元では、世界平和の実現と福祉の増大のため、世界協調の観点から各国民の相互理解と協力の必要性を理解させ、日本の国や国民としての態度を養うことをねらいとしている単元となっている。世界の子どもの現状を知ること、今の自分たちの生活を見つめ直し国際社会において持続可能な社会の一員である自分たちの役割・考え方を前ウルグアイ大統領ムヒカの国連会議演説から学びとることを目標としている。

単元の第1次において、世界の子どもがおかれている現状を資料から読み取り、世界の現状と日本の自分たちの生活を比較することで日本の平和や豊かさを捉えさせたい。第2次において、日本の便利で豊かな日本の現状と、幸福度が低い現実のギャップから自分たちの生活を見つめ直し、ムヒカの演説をヒントに持続可能な社会の一員としての考え方や態度に気づかせたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、社会の授業について肯定的評価が高く、グループ討議など積極的に行うことができる。普段の授業から発表も積極的に行い、グループでの話し合いもできるが、今回の授業では、学習課題を解決する話し合いの中で、さらに高いレベルでの話し合いや発表を展開の中に仕組み力を伸ばしたいと考えている。

(3) 指導観

指導に当たっては、本校が目指している「コミュニケーション能力」「表現力」の資質・能力を伸ばせるような発問をしくみ、資料を通して、生徒の意欲関心を高めていきたい。

2 学校が育成を目指す資質・能力

本校が各授業を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力」である。しかしながら、その前提として、各授業において授業のねらいを確実に達成させることが必要である。授業のねらいを「生徒の主体的な学び」を通してより確実に達成させるため、本校では「解決したい」或いは「達成したい」学習課題を設定し、小グループで考えを練り合わせ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後、全体へ発表させるというスタイルをとっている。このスタイルを、全教科で一斉に行い徹底させることで、ねらいを達成させると同時に「表現力、コミュニケーション能力」が育成できると考えている。

3 目標

世界の子どもが直面している課題に目を向けることで、国際社会のさまざまな課題について知り、今の自分たちの生活と比較しながら、その解決方法や自分とのかかわりを考えることができる。

4 単元の評価規準

社会事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会事象についての 知識・理解
国際社会の課題に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、より良い国際社会の実現と人類の福祉の増大について考えようとしている。	国際社会においてわが国や自分たちの果たす役割について、世界の子どもの現状や自分たちにかかわるさまざまな事象から課題を見だし、その過程や課題を適切に表現している。	国際社会に関するさまざまな資料から有用な情報を的確に選択して、読み取ることができる。	国家間の協力や各国民の相互理解の大切さを認識し、国際社会における課題の解決のために世界の現状とわが国や自分たちの役割を理解し、その知識を見つけている。

5 指導計画（全2時間）

次	学習内容 (時数)	評 価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1	世界の子どもが直面している課題を知ろう。 (1時間)	◎	○			○写真や資料から世界の子どもたちが直面している問題について考え、解決方法について考えることができる。 ○グラフや写真などの資料を正確に読み取り、考察している。	・授業観察 ・発表 ・ワークシート
2	小土井 ゼミナール 『ムヒカに学ぶ日本の未来』 (1時間) 【本時】		○			○現在の国際社会における課題を知り、自分の課題として見いだしている。	・授業観察 ・発表 【ワークシート】
				◎		◎写真や資料の中から課題解決に必要な情報を適切に読み取っている。【表現力、コミュニケーション能力、持続可能な社会づくりにむけた態度】	

6 本時の展開

(1) 本時のねらい（目標）

- 世界の人々と共存するために、どのようにすればいいかを考えることができる。
- 持続可能な社会づくりに向けた態度・考え方に気づく

(2) 評価規準

- 現在の国際社会における課題を知り、自分の課題として見いだしている。
- 写真や資料の中から課題解決に必要な情報を適切に読み取っている。

(3) 準備物

- 世界の子どもたち・日本の現状（写真） グラフ等資料
- 『もったいないばあさんと考えよう世界のこと』
『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』

(4) 学習の流れ (2時間目/全2時間) 小土井ゼミナール『ムヒカから学ぶ日本の未来』

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準 [観点] (評価方法)
<p>1 前時の復習</p> <p>○資料を通して、日本の現状を知ろう。</p> <p>○本時のねらいを確認する</p> <p>2 課題の提示</p> <p>○はな子の資料から日本の実情を知る。</p> <p>○コンビニやスーパーでの食品廃棄の実態を考える。</p> <p>○コンビニがこんなに商品を廃棄しても経営していける理由を考える。</p> <p>○世界幸福度ランキングの資料について考える。</p> <p>○日本の順位が46位であることを知らせる。</p> <p>3 学習課題の設定</p>	<p>◇前時の世界の子どもの現状の学習を振り返る。 (貧困・難民・子ども兵士・児童労働等)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1つめのねらい 「世界の人々と共存するために、どのようにすればいいかを考えることができる。」を掲示</p> </div> <p>◇はな子は好き嫌いをし、食べ残しをする子</p> <p>◇世界の子どもと日本の子どもの現状を比較し日本の豊かさを考える。</p> <p>◇食品を大量に廃棄している写真を見る。</p> <p>生徒の反応</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・捨ててもそれ以上に、買う人がいる。 ・24時間営業で便利。 ・商品を高く売っている。 ・便利さを追求している社会 ・日本は使い捨てても利潤があれば良いと考える社会 </div> <p>◇順位を予想させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・上位を予想 (10位?) </div> <p>◇幸福度が低いことは、「なぜ？」という疑問を持たせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちは恵まれているのに… ・世界の子どもの現状を見ると、日本は豊かで幸せなのに… </div>	<p>ワークシート 発表 生徒観察</p>
<p>《学習課題》 便利で豊かな日本社会なのになぜ幸福を感じている人が少ないのか？ ～世界でいちばん貧しい大統領 (ムヒカ) から学ぼう！～</p>		
	<p>◇「世界でいちばん貧しい大統領 (ムヒカ) から学ぼう！」は後に提示する。</p>	

<p>○個人の意見を聞く (数名)</p> <p>○ムヒカを知る</p> <p>4 4人グループで協議</p> <p>○ムヒカの国連会議での演説からグループで考える。</p> <p>5 発表・交流する</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の子どもの実態を知らない。 ・今の日本の生活があたりまえだと思っている。 </div> <p>◇資料(写真)を提示する。</p> <p>◇他の大統領と比較する(オバマ等)</p> <p>◇世界で一番貧しい大統領と呼ばれている。</p> <p>◇演説資料の配付</p> <p>◇演説を通してムヒカの考え方を知る。</p> <p>◇ムヒカの演説(言葉)をヒントに持続可能な社会づくりに向けた態度や考え方を考える。</p> <p>◇ホワイトボードにまとめ、グループごとに発表する。 (ホワイトボードは、黒板に貼る。)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・幸せの見方を変えるべき。 ・自分たちが作ったしくみを使いこなしていく。 ・利潤や便利ばかり追求しない。 </div>	<p>ワークシート 発表 生徒観察</p>
<p>6 まとめ</p> <p>○ムヒカのことばを確認する。</p> <p>○ねらいを提示する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2つめのねらい 持続可能な社会づくりに向けた態度・考え方に気づく。</p> </div> <p>○持続可能な社会の考え方について紹介する。</p>	<p>『わたしは、自分を貧しいとは思っていない。今あるもので満足しているだけなんだ。』</p> <p>『貧乏とは少ししか持っていないのではなく、無限に欲があり、いくらあっても満足しないことです。』</p> <p>◇「持続可能な社会」の一員であることを自覚する。</p> <p>◇持続可能な社会＝便利さや利潤の追求・欲望をコントロールできる社会</p>	<p>写真から世界の子どもたちが直面している問題について考え、解決方法について考えることができる。[思技] (ワークシート)</p>
<p>7 本時を振り返る</p>	<p>(生徒のまとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々と共存するために、豊かさや幸せの意味を考えることができた。 ・自分たちの生活をあらためて考えることができた。 	

(5) 板書計画 (前黒板)

<p>《单元名》</p> <p>国際社会のより良い発展</p> <hr/> <p>小土井ゼミナール</p> <p>～ムヒカに学ぶ日本の未来～</p>	<p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々と共存していくためには、どのようにすればいいかを考えよう。 ・持続可能な社会づくりに向けた態度・考え方に気づく。 	<p>《学習課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かで便利な日本社会なのになぜ幸福を感じている人が少ないのか？ ・世界で一番貧しい大統領（ムヒカ）から学ぼう。 	<p>タイマー</p> <p>資料（ムヒカ写真）</p>
<p>生徒発表用 ホワイトボード</p>			<p>資料（写真）</p>

